

# 冬季講習

## 【必修領域】 「全ての受講者が受講する領域」

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	受講人数
A02	教育の新動向	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)」 「子どもの生活の変化をふまえた課題」の4つの事項についての理解を深めることを目指す。 ※本講習はオンデマンド型となります。	桐村 豪文(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 吉崎 聡子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 助教)	オンデマンド	令和3年12月6日 ～12月28日	6時間	全教員	200人

## 【選択必修領域】 「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
B04	教育課程・学校経営	「学習指導要領の改訂の動向等」および「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の事項について、各校種や教科の教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 ※本講習はオンデマンド型となります。	宮崎 充治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 石戸谷 繁(柴田学園大学 特任教授)	オンデマンド	令和3年12月6日 ～12月28日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	100人
B05	キャリア教育の理論と実践	現代の雇用情勢や若者の職業意識を踏まえながら、学校現場で求められている進路指導やキャリア教育のあり方について理解を深める。また、具体的な教育方法や援助についての知識やスキルについても習得することを旨とする。 ※本講習はオンデマンド型となります。	吉中 淳(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 吉崎 聡子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 助教)	オンデマンド	令和3年12月6日 ～12月28日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	100人
B13	地域と学校の連携・協働	児童・生徒を取り巻く課題が複雑・多様化している今日、「地域に開かれた学校づくり」を進め、地域と学校が連携・協働しながら児童・生徒の豊かな育ちを支えていくことが期待されている。本講習では、「社会に開かれた教育課程」の実現、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入、地域学校協働活動の推進等、近年の政策動向を把握するとともに、各地の先駆的な取り組みに学びながら、「学校と地域の連携・協働」について探求する。	越村 康英(教育研究院教育・芸術領域 准教授) 深作 拓郎(教育研究院教育・芸術領域 講師)	弘前市	令和3年12月25日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	100人
B14	アクティブラーニング	アクティブラーニングについての理論的な理解を行うとともに、アクティブラーニングの手法をワークショップの形式で体験し、実践的にも理解することを目指す。また、アクティブラーニングの学びをどのように評価するか、従来の学習指導にどのように組み込むかについても学ぶ。	森本 洋介(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年12月27日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人

【選択領域】 「受講者が任意に選択して受講する領域」

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C05	理科	アクティブ・ラーニングに向けたマイクロスケール実験－粒子分野(化学)の実験を中心に①	学習指導要領で導入される「アクティブ・ラーニング」への活用も期待され、特別支援教育でも注目の「マイクロスケール実験」について、その概念と具体的な方法について実験映像を通して考える。小学校理科の学習指導要領「粒子分野(化学)の中からは「粒子の保存性」、第6学年「水溶液の性質」と簡単なプログラミング、中学校や高等学校では、電池や電気分解を中心に、実験映像を通して指導法を考える。 ※本講習はオンデマンド型となります。	長南 幸安(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	オンデマンド	令和3年12月6日～12月28日	6時間	教諭	特別支援学校教諭, 小学校教諭, 中学校・高等学校理科教諭	-
C56	国語	説明的文章指導の理論と方法	説明的文章が戦前・戦後どのように指導されてきたのか、学力、教材、指導過程等を通して考える。また、それらを踏まえ、今後求められる指導の在り方を現在使用している教科書教材を通して演習を行い、考えを深める。	田中 拓郎(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年12月11日	6時間	教諭	小学校教諭, 中学校国語科教諭	20人
C57	社会・歴史・公民・商業	今日の社会と社会科授業	児童・生徒を取り巻く生活環境や社会の状況がめまぐるしく変化する中において、社会科の授業はどのようにあるべきなのか。今日求められている社会科の役割、授業のあり方について理論的な側面と実践的な側面の両方から検討していく。講習の中では、受講者が抱える授業に関する課題や率直な悩みを取り上げつつ改善の方向性を探っていく。	篠塚 明彦(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 小瑠 史朗(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年12月11日	6時間	教諭	小学校, 中学校(社会科)教諭	15人
C59	算数・数学・情報	考える力を伸ばす図形教材の研究	数学の学習指導において、問題の答えを出して終わりにするのではなく、そこから新たな課題を見出して探求しようとする姿勢が大切である。具体的には、別の解決方法を考えたり、条件を見直すことで問題の構造を明らかにしたり、その条件をかえてみることで発展的に考えたりすることである。こうした活動を通して、考えることの楽しさを味わえる図形教材の研究について考えていく。この際、geogebraという作図ツールを使用する機会を設ける。	山本 稔(教育研究院自然科学系安全システム工学領域准教授) 田中 義久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域准教授)	弘前市	令和3年12月18日	6時間	教諭	中学校・高等学校数学教諭	20人
C58	理科	太陽電池を通して見る光と電気	太陽電池は、可動部を持つことなく光エネルギーを直接的に電気エネルギーへと変換することができる素子です。本講習では太陽電池の原理と最新の動向を学びます。また、簡単な色素増感太陽電池を実際に作製し、光と電気の関係性について体験的に学習します。	渡邊 良祐(教育研究院自然科学系機能創成科学領域 助教)	弘前市	令和3年12月11日	6時間	教諭	中学校・高等学校理科教諭, 理科を担当する小学校教諭	10人
C60	理科	動物の発生と再生	近年の発生生物学の研究から、受精卵から個体が作られるまでの発生メカニズムは動物間で広く保存されており、ショウジョウバエからマウスまで共通の遺伝子が働くことが示されている。その一方で体の一部を傷つけられた際に見られる再生の能力は動物間で大きく異なる。本講習ではこれら動物の発生と再生のしくみについて概説するとともに、理科教育の一例としてアフリカツメガエルの受精と胚発生の観察の実演を行う。	横山 仁(教育研究院自然科学系農学・生命科学領域 准教授)	弘前市	令和3年12月18日	6時間	教諭	中学校・高等学校理科教諭	10人
C63	理科	化学実験－中学校・高等学校を中心に	中学校理科および高等学校化学の学習指導要領に沿って、新たに加えられたり戻された学習項目を中心に、実験を通して理科の化学分野の指導法を考える。また発展的な実験も行い、化学教材について学習する。具体的には、例えばイオンの実験や、モル概念の実験などを行う。学習指導要領で導入される「アクティブ・ラーニング」への活用も考えられ、特別支援教育で注目されている「マイクロスケール実験」について、その概念と具体的な方法について実験を通して考える。	長南 幸安(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 島田 透(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年12月24日	6時間	教諭	特別支援学校教諭, 小学校教諭, 中学校・高等学校理科教諭	30人
C62	看護	放射線とリスクコミュニケーション	本講では放射線災害を想定し、地域住民や学校生徒・保護者に対して説明する機会を持つ教員を対象として、放射線リスクコミュニケーションの基本的知識を教授し、事例をもとにした演習を通し放射線リスクコミュニケーションの必要性を以下の内容で意識つける。 1. 講義「放射線リスクコミュニケーションについて」(則包) 2. 講義「放射線の人体に対する影響と防護について」(對馬) 3. 演習「リスクコミュニケーションに関するシミュレーション」(則包、北宮、對馬)	則包 和也(教育研究院医学系保健科学領域 准教授) 北宮 千秋(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 對馬 恵(教育研究院医学系保健科学領域 講師)	弘前市	令和3年12月23日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	30人
C64	技術・工業・農業	技術教育における問題解決的な学習	技術教育における問題解決的な学習の理論と技術的問題解決を促すための生徒へのアプローチや題材設定の在り方についての講義を基礎に、実践事例の検討とプログラムによる計測制御に関する課題実習を行う。また、基礎理論と課題実習の体験を踏まえ、受講者自身の実践を振り返り、講習の成果と課題をまとめ、発表する。	上之園 哲也(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年12月24日	6時間	教諭	中学校 技術科担当教諭 (免許外担当者も含む)	6人
C65	技術・工業・農業	小学校プログラミング教育入門	プログラミングについて全くの初心者の方に向けて。プログラミング教育実施の背景と意義、プログラミング的思考の意味などについて講義を通して理解を深めます。また、実践事例の紹介と複数の小学生向けプログラミングツール(教材)の体験実習・演習を通してプログラミングの基礎的な知識・技能を習得します。講習の最後に、演習で使用する教材を使った実践案を構想し、発表していただきます。	上之園 哲也(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年12月28日	6時間	教諭	小学校教諭・特別支援学校教諭	12人
C61	幼児教育	幼児教育・保育における木製遊具の活用	幼児教育・保育における積み木を中心とする木製遊具の有効性について理解を深めるとともに、幼児教育・保育で活用できる木製遊具に関する基礎的な知識と技能、指導法を学習する。具体的には理論に関する講義と木材を用いた遊具を構想・製作し、それらの活用方法について発表する。	廣瀬 孝(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 武内 裕明(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年12月18日	6時間	教諭	幼稚園教諭	8人